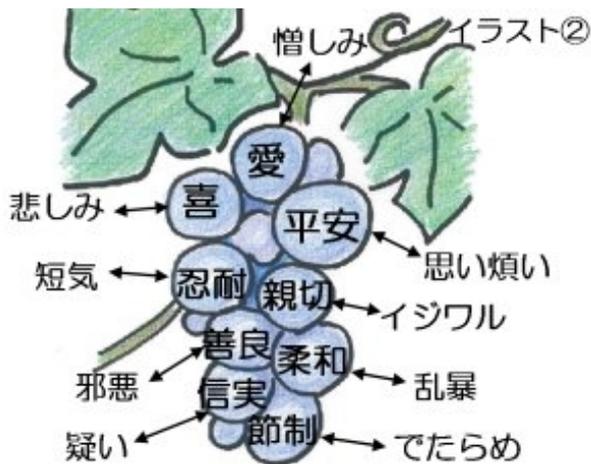


## 「とどまる！！」 ～失望しない方法～

ヨハネ4：12～13

今あなたはどんなものを流しているのでしょうか。良いものですか。それとも悪いものなのでしょうか。良いものを流す方法は、「イエス様と一緒に愛し合う」ということです。だから一緒にいなければ良いものは流せないのです。私たちは大きな問題が起こると「なんで？」と言いながらも神様に委ねることができますが、小さな事や目の前で起きていることは自分の方法で突発的に解決しようとしてしまいます。対処の方法を知らないからです。だから私たちが、問題が起きた時にどう対処すればよいか知っていれば何の問題もありませんが、私たちはそれをしません。備えがないのです。どう対処するかが大切です。(ルカ18：1～10)この出来事はイエス様が十字架に架かる直前のことです。「いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえを話された」(ルカ18：1)私たちはすぐに失望してしまいます。なぜでしょうか。小さな出来事は私たちが神様のもとにくるチャンスになりますが、その時に私たちがどうするかが大切なのです。(ヨハネ15：1～12)悲しいことが起きたときこそ、流されてはいけません。この箇所には「わたしにとどまりなさい」と10回も出てきています。そして「わたしは農夫です」(1)とも書かれています。「わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実をむすぶために、刈り込みをなさいませ。」(2)とあります。ここでは「取り除き」と書かれています。言語では「持ち上げる・支える」という意味があります。農夫である神様は泥に埋もって実のならない枝を持ち上げると言っているのです。つまり、実を实らせるのは私たちではないのです。私たちはよく神様に「私は大丈夫」「私はちゃんとやっている」と言っていますが、これは危険です。「自分には今こんな問題があって・・・」と言っている時のほうがよっぽどイエス様と一緒にいるのです。留まっている枝なら調子が悪くても支えてもらえます。「だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。」(6)しかしとどまっていなかった枝は投げ捨てられ枯れるとあります。実を結ばないとは、「キリストに留まらない、自己義、人間的方法、ルール、悲しみではなく怒り」ということです。この中でも特に「自己義(私は大丈夫)」が怖いのです。「私だけじゃダメだ」という思いがあるからこそ神様にとどまるのです。私たちのダメなときこそ救いがあるのです。そして実を結ぶものはもっと多く結ぶために刈り込みをしないとあります。



例えば「平安」のためには「思い煩い」を、「親切」のためには「イジワル」を刈り込まなくてはならないということです。(左図参照)刈り込みをしている時には辛く感じることもあるかもしれませんが、私たちにとっては大切なことです。「えっ？」というときに神様と一緒にいる人は失望しません。そこから意味を見出し結論がわかるからです。私たちが神様についていればきちんと支えてくれますが、あなたが離れたら無理です。私たちは一度うまくいくと、神様に聞かずに同じようにしてしまうことがあります。「あの時こうやったらうまくいったから今度もこうやる」これは怖いことです。昨日と今日は違います。変わらないのは神の正義と真実と愛です。これを貫くために、神様は色々な方法を教えてくれるのですが、私たちが聞かないのです。あなたは本当

にとどまっていますか？それを確かめる方法は、問題が起き始めたときに神様に聞けるかどうかです。神様が私たちを幹から切り離すのではありません。私たちが本当の恵みを忘れて自分は大丈夫となって枯れてしまっているのです。イエス様と一緒にいればよいのです。そして「神様、私は間違っていないですか？」と自分を見ることが大切です。自制するためには祈りが大切です。「ゲッセマネの祈り」です。だから①**励ましを求めしがみつ**く。朝「主よ、私を励まして下さい」と祈りましょう。そうすれば問題が起きてもすぐに神様のところに行くことができます。そしてしがみつきましょう。(イザ28：16)(Iペテ2：4～6)失望しないためには神様と一緒にいればよいのです。失望しているということはイエス様と一緒にいないということです。そのままにしておくと枯れて燃やされてしまいます。②**愛し合う**。(ヨハ15：9～12)幹から離れそうになることは誰でもあります。その時、仲間が大切なのです。枝は幹に一本だけあって木は大きくなりません。みんなで実を結ぶ必要があります。だから共に愛し合うのです。イエス様にとどまる方法は愛し合うことです。愛は全てを結び合うことができます。③**良い実良い種を！！1日を計る**。(ガラ6：7～10)神様は赦してくれますが、私たちが蒔いてきたものは良いものも悪いものも必ず刈り取ります。世の中の人は悪いものが出てきたらほったらかします。でも、私たちは悪いものを刈り取って、ちゃんと処分できます。過去に蒔いてきたものは今きちんと向き合って刈り取れるのです。それによって良い種が蒔けるようになるのです。あなたの人生は神様と一緒にあなたがよくするのは、だから失望せず大志が描けるのです。神様の慰めがあったことを前提に1日を計りましょう。朝は「慰めをください」と、昼は「しがみつきます」と祈り、夜はきちんと自分を見なくてははいけません。これが失望しないで豊かな実を結ぶ方法です。(詩編139：23, 24)自分を探りましょう。そして、神様にとどまり、豊かな実を結んでいきましょう。(要約者：岩崎祥誉)